

飯野コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：平成 30 年 7 月 28 日（土） 午前 10 時～11 時 40 分

○場 所：飯野コミュニティセンター

○参加者： 32 名

○担当者：市長

地域担当職員 高倉（財務課）・岡上（健康課）

1. 会長あいさつ

年に 1 回の市長懇談会で市長に直接市政に関する意見を言っていただき、答えてもらえるいい機会である。

また台風が来ている。7 月 7 日の大雨の際、避難勧告が出ていた。市の職員にもいろいろと対応していただいた。コミュニティセンターは避難所になっていたが、避難していた方は 0 人であった。被害は多少あったが、人的被害はなかった。大雨の影響で地盤がゆるんでいる場所があるように思う。丸亀市全体が被害にあった場合、市のコミュニティ職員、自治会長さんなどが自分のところは自分で守るような体制をとっていかなければならない。よろしく願います。

2. 市長あいさつ

お忙しいところ参加いただきありがとうございます。毎年、地域ごとに貴重な意見をいただいている。答えられる範囲で回答し、その場で回答できないものは後日回答させていただくようにしている。

避難勧告については夜中に出る場合がある。先に避難準備情報を出しているが、これは高齢者などすぐに動けない方は早めに避難して欲しいため明るいうちに出すようにしているものである。まずは自分の家の周りの特性を考えておいていただきたい。市が避難勧告を出す場合、飯野町の山浴いなど大きな場所しか指定出来ない。ご自分が住んでいる地域の特性を知るととても大切なことである。昔の雨の降り方と違っているので、最悪のケースを考えながら行動して欲しい。

本日も有意義な会にしたいと思う。よろしく願います。

「第二次丸亀市総合計画について」

合併時に作成した総合計画から 10 年経過し終了したので、昨年、第二次総合計画を作った。時代の流れや市長の任期の関係などもあり 8 年計画としている。「豊かで暮ら

しやすいまち 丸亀」を全体の目標としている。特別なことがあるわけではなく、市民がいかに豊かで暮らしやすいものにするかということを目標にしている。5つの基本方針を作り、その中には飯野コミュニティセンターの改築も含まれている。子育て、防災・安心安全、健康作り、産業の活性化、地域活動というそれぞれの柱に沿ってみんなで協力してやりましょうという計画を作っている。詳しい内容はコミュニティに冊子を置いているのでまた確認いただきたい。

「都市計画マスタープランについて」

建物や土地利用についての計画である。県の計画に沿いながら進めていく20年の計画であるが、昨年10年経過したので中間見直しを行なった。合併後の丸亀市の機能的な中心を旧丸亀の中心地区に改めて指定させていただいた。その地区に公共的な建物などをできるだけコンパクトにまとめ、そこへ行きやすい交通網を整備するということが大筋の計画になっている。

3. 地域担当職員紹介

4. 自由討議

(1) 交通網について

(女性)

商業都市モデル地区ということで飯山町にたくさん大型店舗ができた。また大型店舗ができる前はパパベルや讚さん広場ができており飯野幹線の交通量が大変増加した。70キロ出している車も珍しくない。飯野幹線は道路が狭いため速度違反の取締りができない。地域で対策を検討して欲しいと警察に言われた。善通寺府中線も中方橋が通行できないせいか、交通量が増加している。飯野小学校に通学する子どもたちが安全に登下校できるようにしていただきたい。飯野幹線沿いに住宅が建設され、小学生が多く通学している。東側の住宅では歩道があるので問題ないが、西側にある住宅だと歩道がなく子どもたちは危険な目にあっている。それについても警察に相談したところ、本当に必要なところに歩道をつけることを勧められた。通学路で立哨していると、スピードを出す車が多く身の危険を感じると保護者からもよく聞いている。何とか考えて欲しいと思う。

飯野に保育園ができると聞いた。飯野幹線はあんなに渋滞しているのに、どうやって侵入できるのだろうか。大変不安に思う。早めに手立てを考えて欲しい。

(市長)

昔の道路整備は線を引いて道路を通すという整備方法であったが、予算や実情にあわないため、部分的な待避場所や横断歩道や歩道などを必要な場所に整備する方法に変わってきている。少しずつ整備していき、何十年後かにはきちんとした姿になっていく。

スピードを出す車への対策については警察に相談してみたい。ハード面の整備と危険な場所の周知、道路の特性、周りの状況が変われば交通の仕方も変わる。その場合、市役所で表示や対策をしていく必要があると思う。一緒に相談しながらできることを検討していきたい。大掛かりな対策ではなく、部分的にできることを重ねることも大切なので、関係部署と連携を取りながらやっていただきたい。ご協力お願いします。

新しい保育所は、保育所としてはとても最適な場所だと思うが進入道路が大変難しい。利用する人の自覚を持っていただくことも必要だと思う。ゾーン 30 やカラー舗装なども有効な手立てだと思う。

(女性)

ゾーン 30 を知っている人は少ないと思う。広報して欲しい。

(市長)

ゾーン 30 については啓発という意味で、地域内でその意識を共有するという狙いもある。道路を広げることは物理的に難しい。進入路や駐車場の形状について、建設する法人と市で協議し要望確認しながら進めていきたい。

(2) 浸水被害について①

(男性)

吉岡東自治会は南東方向のエリアに浸水被害が多い。これはその地区で水路が狭くなっていることと、上流に田がなくなっていることも原因だと思う。平成 16 年の台風では一帯が湖のようになり市で対策をしてもらい、ある程度の効果があったが、最近また浸水被害が続いている。下流に流す水路整備をお願いしたい。宇多津町鍋谷地区と境になっており、同じような被害が出ているので、ぜひ宇多津町と連携を取って進めてもらいたい。

(市長)

以前はよく浸水していた地域だと思う。今後の対策を考えるのは難しいが、それを解消するためにどれぐらい財源が確保できるのかということにより、多少変わってくる。これまでの経過も分かっているので、長期的な対策を考えていきたい。引き続きよろしくお願いします。

(会長)

宇多津町が下流をポンプアップしたと聞いた。かなり効果があったと聞いている。

(男性)

伺っている。その対策をしても鍋谷地区と吉岡東の南東方向エリアの水路はボトルネックになっている。

(市長)

ポンプ対策は丸亀市でも今津町に5台ぐらい増設し内水を川に流している。土器町でも設置し、一定の効果があった。対策はいくつかあるので、宇多津町とお互いに協議しつつ考えていきたい。

(2) 浸水被害について②

(男性)

近くに赤山川が流れている。大東川と赤山川の接点があり、台風の際に増水する。とても危険な状態であるので、対策をお願いしたい。

(男性)

場所は南から大東川、西から赤山川の合流地点である。両方とも3mほどの川幅で、合流して下流に行っても3m程度、昔のままの川幅である。先日の豪雨の際もあと5センチぐらいで川が溢れるところだった。昨年9月の台風、2003年、4年の台風では川が溢れ冠水した。住んでいるところの特性であると思うが、赤山川がバックウォーターのような状態になる。南側の開発が進み整備され、川の量はとても増加していると思うが、合流地点から下流は昔のままの川幅で最近の状況にあっておらず、置き去りにされているように感じる。以前、整備しようという動きがあったらしいが中断している。川の管理は県だと思うが、今後どのように改善していただけるかお聞きしたい。

(市長)

赤山川は川幅が細く、付近では常に冠水の危険性がある。下流側から少しずつ整備していくことになっていると思う。同じような状況で土器の古子川の整備も長期間かけ進んできた。赤山川についても整備計画して欲しいが、具体的にはまだできていないと思うので、引き続き県に対し強く要望し改修計画を作ってもらいたいと思う。川の整備費用は莫大な予算が必要になり長期間かかってしまうが、当面の対処法として、例えば矢板を打ってその部分だけ高くするなど部分的な改良は必要である。県に長期の改善と部分的な対策について強く要望していく。

(3) 自治会加入について

(男性)

川は整備されていたとしても、大雨で流れてきた土砂、木で川が詰まる。大きな災害になると想像を超える量が流れてくる。地元では用水路、大小の川があるが、地域みんなの手で清掃し、やっと保たれていると思う。誰もしない場所ではゴミが捨てられたりして荒れていく。自治会の力は大きいと思う。自分たちは頑張って活動しているが、市ではどれだけ援助してくれているか、また加入率を増やすためにどんなことをしてくれているかを考えたとき、疑問に思う。自治会は大きな力だと思うが、市のバックアップが弱いのでは困る。

(市長)

非常にありがたい。自治会加入が少なくなると、地域での活動が減り補うために税金の負担が多くなる。自治会加入促進はとても重要である。第二次総合計画でも加入率 60 パーセントを目指している。個々の自治会への経済的な支援については従来あまりなかったように思う。コミュニティを通じて、コミュニティのまちづくり交付金や活動費で少しずつ充実させていただいている。

自治会加入については担当課だけでなく、各部署が自治会加入促進への意識をもって取り組まなければならない。住宅開発の際に必ず自治会を作ってもらうようにすればどうかという意見もあった。そういう手段を使ってでも取り組んでいきたい。今年度、自治会加入推進委員を任命した。住宅開発業者と折衝する担当とし、自治会加入促進へ取り組んでいくこととしている。もう一步進めるならば、何らかの理念的な条例を作るということも考えられる。今年豪雨災害があった地区で、自治会に入っていない家にはボランティアが入れない事例があった。そういうことも含めて地域活動への意義を市民に広報していく必要があると思う。

以前、一部の地区で新市民は自治会に加入させないという自治会があった。10 人いれば自治会は作ることができる。前向きに取り組んでいきたいので、今後も力や知恵を貸していただきたい。

(会長)

飯野地区の現状は、加入率 52 パーセントである。14～15 年前は 60 パーセントであった。なぜかという、新しく建った集合住宅の人はなかなか加入していただけない。一戸建ての場合も飯野の場合、加入金が 30 万円必要ということでなかなか加入してもらえない。以前は新住民は加入させない自治会も実際あったと聞いている。

加入しなくても、市は平等に公共サービスしなければならないのも理解できるが、加入した際の明確なメリットを広報でPRしていただきたい。地元は頑張って加入してもらいたいと考えている。

(女性)

税金を納めているから市民は平等に公共サービスが受けられるということは理解できる。以前、広報紙などは市から地区の会長に配布されていたが、委託し各個人へ配られるようになった。確かに自治会長が配布するのはとても大変だったと思うが、昔のように配布した方がいいと思う。広報を配布するときに交流や普段のふれあいがあるから会えば話ができる。税金を納めているのだから、自治会の加入有無に関わらず広報誌は家まで持ってくるのが当たり前だといわれれば何も言えない。市でも広報紙はコミュニティセンターや市役所に取りに行くように言ってもらうなど、自治会活動のしやすさを考えていただきたい。

(市長)

現在でも1コミュニティではコミュニティが配布している。広報の配布は自治会でも委託でもどちらでも選べる。元の配布方法も可能である。自治会加入についての条例を作る中で、予算の問題、加入メリット、広報の配布についても項目の中に入れられるかどうか検討したい。個人的には自治会経由の配布は交流も生まれて、いいことだと思う。

(男性)

自治会の役員はとても負担が大きい。市からのメリットを何か増やせないか。

(市長)

会長のご苦勞は大変よくわかる。手当てについても300円である。そういうところに予算がつけられないかを含めて検討したいと思う。

(男性)

新しく住宅が多く建設されている。自治会加入の話をしに行くが、なかなか加入してくれない。ゴミの収集のためにも自治会に加入した方がよいことを伝えて加入を促がしていたが、突然、ゴミ収集場が設置されていた。自治会加入を促進していくなら、そういったことを地元自治会長に相談していただけないか。

自治会加入負担金を半額にした。もっと下げなければならないと思うが、なくすのは同意が得られず難しく、大変苦慮している。自治会に加入しようと考えてくれた人もいたが、旧住民が受け入れてくれなかったという事例もあった。加入促進のために自治会加入についてのパンフレットを作っただけでないか。

(市長)

ゴミ収集場所の設置、収集について、自治会加入を条件にするのは法的には難しい。ステーションの設置はコミュニティを通じて申請するようにと連合自治会から提言をいただいている。そういったことをやらないと自主的に自治会に加入するということは減っていく一方なので、ゴミステーションの問題も含めて検討したい。

チラシについては、市民活動推進課に何種類かあるのでぜひ活用いただきたい。岡田コミュニティで作成しているチラシはとてもよかった。いい例を参考にしながら啓発活動に取り組んでいきたい。みなさんが楽しく活動できるようにやっていきたい。

(4) 避難所について

(男性)

災害時に避難所へ避難する際、車で避難すると思う。飯野小学校へ避難する場合、かなり殺到するように思う。そういった対策、整備は考えているか。

(市長)

道路は災害に限らず、安全に通行できるように場所の特性に応じて重要度をつけて整備していきたい。飯野小学校への避難経路についても、個別に考えてみたいと思う。

(5) 野良猫対策について

(女性)

生ゴミの回収は週 2 回来ているが、カラスの被害対策でネットをかけたりにしてきた。最近、野良猫がネットの中にもぐりこんでゴミを漁って困っている。野良犬の確保は聞いたが、野良猫は確保してもらえないのか。

(市長)

野良猫の確保は法的にはない。市役所としてゴミや衛生面で考えていかなければならないと思う。野良猫を保護して飼い主を見つける活動をしている人もいるが。今後の宿題にさせていただく。

(所長)

地域で知恵を出し合っている知恵があればコミュニティセンターへも教えて欲しい。

(6) 広報・議会だよりについて

(女性)

市広報・議会だよりを見た。市広報はカラーになりとても見やすくなり、見たいと思

うようになった。近くのことだけでなく、飯山や綾歌など遠くのことまで大変わかりやすい。広報や議会だよりはどれぐらいの市民が見ているのかと思う。せっかくの広報・議会だよりなので、市民がもっと関心を持てるような工夫が必要である。また、議会の傍聴に行っているのだが、傍聴人が非常に少なく残念に思う。選んだ以上は市民として議会の傍聴をした方がいいと思う。

(市長)

今年、広聴広報課を作り市民にどのようにすれば伝わるかについて検討している。また今年に入り若手職員 20 人程度でプロジェクトチームを作り、見やすくするにはどうすればいいか、ホームページやフェイスブックなど市民に見てもらえる研究をしている。今年になり予算内でページ数を増やし、カラーにすることができた。とても見やすくなったと感じている。今後も努力していきたい。

議会の傍聴については、ぜひしていただきたいと思う。

(7) その他

(女性)

今年のチャレンジデーで丸亀市が勝ち大変うれしく思った。来年も頑張らなければならないと思う。

また城西高校が甲子園に行く。いろいろと楽しみが増えている。

(市長)

チャレンジデーではご協力ありがとうございます。身体を動かすいい機会だと思う。みなさんのおかげで無事勝つことができた。

城西高校の市民壮行会を 30 日 16 時から市役所玄関前で行うのでぜひ参加していただきたい。

(所長)

飯野地区では「おじよもんクラブ」を春、夏、冬休みに開催している。大変好評で飯野小学校で 110 人が登録している。子どもたちに教えている地元ボランティアは 20 名。今年の夏休みも 19 日開催する。時間があればぜひ市長に見に来ていただきたい。